

第9回

九州地域戦略会議夏季セミナー

「アジアと一体となって発展する九州」 の実現に向けて



【開催日】 平成23年8月7日(火)～8月8日(水)

【場 所】 メイン会場：海峡メッセ下関

	4階「イベントホール」
第1分科会：同館内	9階「海峡ホール」
第2分科会：同館内	8階「801会議室」
第3分科会：同館内	10階「国際会議場」
第4分科会：同館内	8階「804会議室」
第5分科会：同管内	4階「リフレッシュルーム」

ご あ い さ つ

東北地方のみならず、わが国全体に甚大な被害を及ぼした東日本大震災の発生から4カ月が経過しました。九州・沖縄においては、震災直後、サプライチェーンの断絶による生産活動の停滞、消費の冷え込み、風評被害による海外観光客の減少や農産物輸出の低迷などがありました。現在、徐々に持ち直しつつあるところでもあります。

大震災という厳しい状況の中、官民一体となって九州の発展戦略を協議し実行する九州地域戦略会議は、被災地への復興支援に関する声明文「東日本大震災への九州の対応に関するアピール」を6月に公表いたしました。今後、産学官民の総力を結集して中長期的な観点から、被災地の復興支援、国内外からの観光誘客、広域的防災対策の実施などに取り組んでまいります。

さて、今回の夏季セミナーは、『「アジアと一体となって発展する九州」の実現に向けて』をメインテーマにしております。少子高齢化・人口減少社会を迎え、九州経済の今後の発展には、急成長を続けるアジアの活力を取り込むことが不可欠と考えるからです。アジア市場への輸出、アジアからの企業や人材の呼び込み、アジアからの観光客の誘客などに取り組むことが重要であります。今年3月には九州新幹線鹿児島ルートが全線開業しました。韓国・中国をはじめアジアからの入込観光客が九州新幹線を利用して周遊することにより、アジアの活力の取り込みにも寄与することが大いに期待されます。

また、地球温暖化問題への対応は世界規模の重要課題であり、今年6月の九州地域戦略会議において、我が国の環境への取り組みのトップランチャーとして、九州の産学官民が一体となって取り組むべき施策を示した『低炭素社会を目指す九州モデル』を策定したところです。

そこで、今回、「環境技術・インフラ関連システムの輸出」、「農業と観光の融合」、「グローバル化に対応できる国際観光のビジョンと人材育成」、「低炭素社会を目指す九州モデル」に関する4つの分科会を設け、議論していただくこととしております。各界各層の皆さまの知恵を結集し、実りある議論の機会になることを切に願っております。

ご参加の皆様には、是非とも忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。このセミナーが九州地域全体の一体感を更に高める契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 議長

(社)九州経済連合会 会長 松尾 新吾

ご あ い さ つ

夏季セミナーは、今回で9回目を迎え、九州・山口を一巡することになります。この間、九州・山口をリードする産学官のトップが一堂に会し、直面する課題や、今後目指すべき方向性などについて熱心な議論を行ってきました。

今セミナーでは、「『アジアと一体となって発展する九州』の実現に向けて」をメインテーマに、企業の国際競争力強化のための企業戦略の展開や農林水産物の輸出促進、再生可能エネルギーの産業化、誘客強化に向けた観光振興策、九州材の販路拡大と九州の森林づくりといった、九州・山口の未来につながるテーマが設定されています。ご参加の皆様には活発な議論を深めていただきたいと存じます。

さて、最近の九州の経済動向について、日本銀行は「一部になお弱めの動きも見られるが、全体として持ち直している。」との判断を示していますが、先行きについては、海外経済の情勢や為替相場の動向など、個人消費や企業活動に及ぼす影響などを注視する必要があります。一方、国内経済は、東日本大震災後の影響も色濃く残っており、景況感を持ち直しつつあるものの、まだまだ景気の回復には至っていないという状況にあります。

九州には、自動車など多様なものづくり産業の集積があります。また、フードアイランドとも言われるほど農畜産物の生産が盛んです。今こそ、こうしたポテンシャルを発揮し、我々九州が日本経済をしっかりと牽引していくことが必要です。

九州では、「九州はひとつ」の理念の下、九州地方知事会による政策連合をはじめとした広域連携施策、九州地域戦略会議での道州制の九州モデルの研究や地球温暖化対策の連携など、官民一体となった取組を進めています。

九州地方知事会では、こうした取組を背景に、現政府の進める「国の出先機関の原則廃止」に呼応し、他のブロックに先駆けて、国の出先機関の事務・権限・人員・財源等を丸ごと地方に受け入れるべく、「九州広域行政機構（仮称）」の設立を目指すことを表明し、最重要課題として積極的に取り組んでいます。この取組が実現すれば、九州全体の産業政策や中小企業対策、経済発展の基盤となるインフラ整備等について、国が決めたことに従うのではなく、九州自らが考え、決定し、実行していくことができるようになります。

九州経済の活性化、競争力の強化にもつながるものと考えますので、皆様方には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本セミナーが、「九州はひとつ」という機運をさらに高め、産学官が、アジアの活力を取り込むための知恵と工夫を出し合い、九州の発展の契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 副議長

九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞

第9回九州地域戦略会議夏季セミナープログラム

第1日 8/7(火)

13:30 ■ 開会式

会場 海峡メッセ下関
4階「イベントホール」

開会挨拶 九州地域戦略会議 議長 松尾新吾

■ 基調講演

「東アジアと日本」

政策研究大学院大学 学長 白石 隆
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 所長

15:30 ■ 分科会

第1分科会 企業の国際競争力強化のための方策 ～国内外における企業戦略の展開～

会場 海峡メッセ下関
9階「海峡ホール」

座 長 福岡女子大学国際文理学部教授、九州大学 名誉教授 塩次喜代明
企業連携WG報告 佐賀県 農林水産商工本部長 山口康郎
課題提起者 (株)村上精機工作所 代表取締役社長 橋本尚二
課題提起者 (株)中島田鉄工所 代表取締役社長 中島田正宏

第2分科会 企業の国際競争力強化のための方策 ～農林水産物の輸出促進～

会場 海峡メッセ下関
8階「801会議室」

座 長 中村学園大学・中村学園大学短期大学部学長、甲斐 諭
九州大学名誉教授
課題提起者 福岡商工会議所 総合企画本部 部長 小畑 憲生
課題提起者 香港貿易発展局 大阪事務所長 伊東正裕
課題提起者 九州農政局 経営・事業支援部 次長 下條 龍二

第3分科会 九州における再生可能エネルギーの産業化

会場 海峡メッセ下関
10階「国際会議場」

座 長 国立大学法人宮崎大学 名誉教授 大坪昌久
課題提起者 九州経済産業局資源エネルギー環境部 赤時孝治
エネルギー対策課長
課題提起者 西日本技術開発株式会社 執行役員地熱部部長 島田寛一
課題提起者 同志社大学理工学部教授 長岡直人

第4分科会 九州への誘客強化に向けた観光振興策

会場 海峡メッセ下関
8階「804会議室」

座長 九州産業大学商学部学部長 千 相 哲
課題提起者
課題提起者
課題提起者

第5分科会 九州材の販路拡大と九州の森林づくりについて

会場 海峡メッセ下関
4階「リフレッシュルーム」

座長 慶應義塾大学理工学部特任教授 博士(環境) 米 田 雅 子
日本学術会議連携会員
課題提起者 株式会社伊万里木材市場 代表取締役 林 雅 文
課題提起者 木脇産業株式会社 専務取締役 山 下 史 洋
課題提起者 ナイス株式会社 福岡営業部 部長 高 木 靖
課題提起者 宮崎大学 農学部 教授 藤 掛 一 郎

18:30 ■ 懇親パーティー

会場 海峡メッセ下関
4階「イベントホール」

20:00 ■ 産業視察①

会場 海峡ゆめタワー

第2日 8/8(水)

9:00 ■ 全体会議

会場 海峡メッセ下関
4階「イベントホール」

全体会議座長 九州地域戦略会議 議長 松 尾 新 吾
分科会報告 福岡女子大学国際文理学部教授、 塩 次 喜 代 明
九州大学 名誉教授
中村学園大学・中村学園大学短期大学部 甲 斐 論
学長、九州大学名誉教授
宮崎大学名誉教授 大 坪 昌 久
九州産業大学商学部学部長 千 相 哲
慶應義塾大学理工学部特任教授 米 田 雅 子
博士(環境)、日本学術会議連携会員

10:30 ■ 閉会

第5分科会 九州材の販路拡大と九州の森林づくりについて

主旨

我が国の戦後に拡大造林された人工林資源は、充実し利用期を迎えようとしている一方、木材価格の低迷から林業経営は依然として厳しい状況に置かれている。

このような中、国は木材自給率50%を目指す「森林・林業再生プラン」を策定し、そのプランは「新成長戦略」の国家プロジェクトの一つに位置づけられた。

九州は、①成長量の多い豊富な森林資源、②高いレベルの素材生産力、③国際マーケットに近いといった優位性がある。

そこで本分科会では、九州の森林・林業の現状と課題を踏まえた上で、九州の地域特性を活かした「九州材ブランドの確立と販売戦略」、「広域カスケード利用の実現と流通改革」、「次世代の九州の森林づくり(持続可能な森林づくり)」について、産学官民が一体となった施策や取り組みについて具体的に議論する。

座長

慶應義塾大学 理工学部特任教授 博士(環境) 米田 雅子(よねだ まさこ)氏
日本学術会議連携会員

略歴

- 1956年 山口県生まれ
- 1978年 お茶の水女子大学数学科 卒業
- 1978年 新日本製鐵株式会社 入社
- 1995年 東京大学建築学専攻 研究生・研究員
- 2006年 東京工業大学 特任教授
- 2007年 慶應義塾大学理工学部 教授(現/特任教授)
- 2007年 内閣総理大臣表彰を受賞
- 2009年 JAPICに森林再生事業化研究会(「委員会」に名称変更)を立ち上げ、林業改革にも取り組む(現/委員長)
- 2010年 次世代林業システムを提言
緊急建設業雇用対策として「平成検地」を提言、「林建共働」の推進

著書

- ・「日本は森林国家です」(ぎょうせい 2011年)
 - ・「複業のすすめ」(建通新聞社 2011年)
 - ・「大震災からの復旧—知られざる地域建設業の闘い」(ぎょうせい 2012年) など
-

課題提起者

- 「サプライチェーンマネジメントの構築(素材流通改革)」
株式会社伊万里木材市場 代表取締役 林 雅文氏
- 「木材流通・加工のコスト低減と付加価値の向上」
木協産業株式会社 専務取締役 山下 史洋氏
- 「九州材ブランドの販売システムの構築」
ナイス株式会社 福岡営業部 部長 高木 靖氏
- 「九州における次世代の森林づくり」
宮崎大学 農学部 教授 藤掛 一郎氏